

三年学年だより

No. 7

10月号

令和7年10月発行

305HR

たかが受験、されど受験、そして受験 ～受験体験を最大限楽しむ～

この学年だよりが発行される頃には、共通テストまで100日前後を迎えているのではないのでしょうか？ ここからは1日1日の経過がとてつもなく早く感じることでしょう。そこで、いつも305HRで口酸っぱく言っていることを2つ、あえて3年生全体に知らせたいと思います。

1. 受験生が偉いわけではない。

受験勉強を苦しみながら、一生懸命取り組んでいることは素晴らしいことです。これまでの人生で一番がんばっていることでしょう。そのこと自体は偉いです。一方で、独りよがりになっていませんか？ 受験勉強をしていたら、夜更かしや遅刻、ちょっとした体調不良で学校を休んでいいものでしょうか？ 食事の後片付けやお風呂を入れる等のちょっとした家の手伝いなんてする必要はないのですか？

受験生である前に、高校生・中央生です。やるべきことを粛々と行って本番を迎えてください。受験は「自分事」だから、がんばるって当たり前ですが、支えてくれている家族や学校の先生は相当気を遣ってくれていることを忘れないように。謙虚さと感謝の気持ちを常に持ってください。

2. 受験体験はあなたを成長させてくれます。

私自身の受験は失敗の連続でした。「どうせ大丈夫」、どこから湧いてくる自信だったのでしょうか。センター試験（現共通テスト）の初日後には、何人かの友人とビリヤードに行きました。翌日試験があるというのにです。1で述べた「謙虚さ」のかけらもなかったということですね。結果は、当然の大失敗。ただ、生来、楽観的な性格のためか、その後も受験は続けました。前期試験、後期試験、追加合格、18歳春の大学入学式を2回出席等、貴重な体験と時間が、いいか悪いかは別として、少なからず「現在の私」に影響を及ぼしていると考えます。今振り返ってみても、ある意味、「受験」を楽しんでいたのではないかと思います。今、受験勉強で苦しんでいるみなさん、たかが受験です。もちろん、されど受験です。そして終わってみれば思い出に過ぎない受験です。長い人生のほんの1ページです。受験はみなさんを食べたりしませんから。

以上、305HRでは言いたい放題言っていますが、あえて2点に絞らせてもらいました。2026年4月1日、みなさんはどこで何をしていますかね？
(305HR担任)

“大丈夫” !!

この言葉は、松山商業高校から松山大学を経て、三井住友海上陸上競技部で日本の女子マラソン界を牽引してきた松山市北条出身の土佐礼子さんが、高校の後輩たちに送ってくださった言葉です。現在も愛媛マラソンのスペシャルサポーターとしても活躍されています。2度のオリンピックと世界陸上に日本代表として出場し、世界陸上ではエドмонт大会で銀メダル、大阪大会で銅メダルを獲得されました。非常に粘り強い走りで、多くの人を感動の渦に巻き込みました。そんな土佐さんが、高校駅伝に臨む後輩たちのために、この言葉を襷（たすき）に書き記していただきました。私も、この言葉にとっても感銘を受け、今も大切にしています。

みなさん、進路実現のために、模索し努力を重ねていることと思います。自分の目標を達成するために重ねた努力は、必ず報われるときが来ます。自分の力を信じ、ここまで支えてきてくださった保護者や先生方の激励に感謝しながら、迷うことなく一步步つ前に進んでください。めざすゴールは必ず見えてきます。しっかり駆けていってください。・・・“大丈夫” !! (305HR副担任)